お護摩修行のおすすめ

皆様の諸願成就を祈願する

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。

お護摩修行とは、護摩木という特別な薪を大導師が御護摩の炎の中に投入し、あらゆる煩悩を焼き浄めるために行われます。そして、御信徒の皆様の祈りが御本尊様に届けられ、皆様の諸願が成就するという修行であります。

御護摩修行を行った方には、御護摩札が授与されます。

大切にお持ち帰り頂き、お供物と共に自宅等に奉安礼拝して、一心に御宝号「南無飯縄大権現」とお唱え下さい。

苗木奉納

古来より高尾山の御信徒は、自分のお願いが成就した時に感謝とお礼の意味を込めて、苗木を奉納するという習慣がありました。今日でも、お杉苗奉納は続いており、参道の大杉原には一年間掲示される杉苗奉納者の芳名板が、板塀のように並んでおります。

高尾山では寺法において「殺生禁断」を第一義に、むやみに草木を切ることを厳しく戒めてきました。私達は信仰心と共に大自然を守り、また大自然から守られつつ、共存共栄し、本日の景観を造りあげてきたということを、忘れてはならないと思います。

尚、毎年**十二月十日**までに、**一万円以上**を御奉納頂いた方のお名前を、翌年より掲示させて頂いております。

高尾山のお護摩札とお供物

(大) 10,000円	お護摩 3,000円以上	お護摩 5,000円以上	お護摩 10,000円以上	特別大護摩 30,000円以上	開帳大護摩 50,000円以上	特別開帳大護摩 100,000円以上
(中) 5,000円						
(小) 3,000円						

家内安全(家)	商売繁昌(商)
事業繁栄(事)	交通安全 車内用札(車・交)
交通安全 神棚用木札(木・交)	身上安全(身)
災難消除(災)	厄除(厄)
身体健全(体)	当病平癒(病)
開運(開)	良縁成就(縁)
安産成就(安)	入学成就(入)
心願成就(心)	御礼(礼)
奉納杉苗(杉)	

(　)内の略体をお書き下さい

お護摩の願事

お願い事は一体一願意とします。

併願(二願意)は一万円より受け賜ります。

但し、五千円で家内安全と商売繁昌のみ併願とさせて頂きます。

お護摩札には年令・生年月日等は入りません。

高尾山慶賛会入会のおすすめ

「物で栄えて心で滅ぶ」という言葉は、昨今の世相を端的に表現しているようです。

経済発展の代償として、公害、交通禍、その他様々な弊害が生じ、経済的には豊かになりながらも、心は貧しく刺々しくなり、社会全体が人々の「迷いの心」で覆われております。かかる時代こそ、心に「うるおい」を与える存在として信仰心が必要であり、信仰の温かい心を通じて愛情、尊敬、感謝などの心を養い、人間味豊かな社会を建立したいものと念願しております。

高尾山は現在『ミシュラン三つ星を頂き、**『心のふるさと祈りのお山、世界に冠たる高尾の自然』**と称され、多くの参拝者が来られています。

こうした恵まれた自然環境の中にある薬王院には、古来より僧侶だけではなく、広く一般からの篤志家が参加して行われる、多くの年中行事が伝承されております。**高尾山慶賛会**は、こうした各種の行事を奉賛し、以て御本尊を尊信し、その御加護を仰ぎ明るく暖かく、そして豊かな生活を送ることを目的とするものであります。

ぜひとも茲に広く高尾山慶賛会員を募り、ご加入御協賛を頂き、御本尊様の威神力に浴されますよう念願するものであります。

侍衣装を着た慶賛会の皆様

お申込・問合せ

年会費　一口五千円

申込方法　お手数ですが「高尾山慶賛会係」までお問い合わせ下さい。申込用紙を発送致します。

〒一九三-八六八六
八王子市高尾町二二七七
高尾山薬王院「慶賛会事務局」
TEL　〇四二-六六一-一一一五
FAX　〇四二-六六四-一一九九

郵送御護摩申し込み受付について

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。遠方の御信徒や、参拝できない御信徒の皆様の為に、御護摩札の郵送をお受けしております。

手紙、FAX等での申し込みをお願いしておりますが、「高尾山薬王院公式ホームページ」内の御護摩祈祷の御案内からインターネットにて、直接お申し込み頂くことが出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先☎〇四二-六六一-一一一五「郵送御護摩係」まで

七五三身の上安全祈願

「七五三」とは、皆様方の可愛いお子様が、これから健康にすくすく育ちます様に、又、交通事故などに遭わないように、との願いを込めて寺社にお参りするという行事です。

高尾山でも御本尊・飯縄大権現様の御加護を願い、毎年多くのお子様がお参りに訪れております。十月～十一月の間、山上「御護摩受付所」にて、「七五三祝い子育て祈祷」を受け付けております。

どうぞ皆様で御来山なされますよう、ご案内申し上げます。

※十一月中の土・日・祝日には大変な混雑が予想されますので、時間に余裕を持って早めの御来山をお勧めしております。